ＳＢＩインシュアランスグループ株式会社

2027年３月期第２四半期 決算説明の要旨

（2026年11月11日）

関連資料

1. 2027年３月期第２四半期 決算説明会（機関投資家・アナリスト向け）（動画）

2. 2027年３月期第２四半期 決算説明資料（プレゼンテーション資料）

掲載先 URL： https://www.sbiig.co.jp/ir/irvideos/index.html

※本資料は、発言内容を簡潔にお伝えするため、敬語・丁寧語等を平易な言葉遣いに置き換えております。

（前略）

・本日（11 月 11 日）公表した第２四半期決算についてご説明します。また、９月 30 日付で ＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社との経営統合の基本合意を公表しましたので、合わせてご説明します。

＜連結業績＞

・（プレゼンテーション資料（以下「資料」）P.４）当第２四半期の経常収益は、前期比 13.6%増加の 786 億３千１百万円。経常利益、26.0%増加の 92 億９百万円。（親会社株主に帰属する）中間純利益、14.8%増加の 25 億８千７百万円でした。

・当第２四半期も、３項目ともに過去最高金額でした。

・（資料 P.５）経常収益の推移です。各事業において保有契約件数が堅調に増加しているため、増収が続いています。

・（資料 P.６）保有契約件数、１年間で 7.7%増加して、今年９月に 330 万件を突破しました。

・（資料 P.７）収入保険料は、15.8%の大幅な増加でした。以前より進めてきた保険料の見直しの効果が増収幅を押し上げ、保有契約件数の増加率を上回る大幅な増収となりました。

・（資料 P.８）増収効果により、経常利益も増加が続いています。

・（資料 P.９）（親会社株主に帰属する中間）純利益も同様です。当第２四半期は損保事業で繰越欠損金が解消したことで税金費用が増加しましたが、増収効果がそれを上回り、14.8%の増益となりました。

＜セグメントごとの経営成績＞

・（資料 P.10-12）経常収益、全事業で増加しました。（事業毎の増加率は）損保 21.6%、生保 12.3%、少短 5.6%でした。収益の構成比は、生保が 41.2%。損保 34.9%、少短 23.9%でした。

・セグメント利益の構成比は、損保 56.8%。生保 29.4%、少短 13.8%でした。この第２四半期の時点では、少短のセグメント利益は前期比がマイナスとなっていますけれども、当年度通期ではプラスに転じるものと予想しています。

＜損害保険事業＞

・（資料 P.13-16）セグメント利益です。保険金支払いの増加に加え、先ほどご案内のとおり、税金費用の増加が利益の下押し要因となりましたが、増収効果がこれを上回り、セグメント利益が 9.9%増加しました。

・（資料 P.15 の）右のグラフは税引前利益の前年同期比です。15.3%増加しました。

＜生命保険事業＞

・（資料 P.17-19）セグメント利益は、保険料の増収に加え、資産運用が順調でしたので、92.5%と大幅に増加しました。基礎利益は 38.2%増加しました。

＜少額短期保険事業＞

・（資料 P.20-22）少短事業のセグメント利益は、４億２千５百万円でした。当年度通期では前年を上回るものと予想しています。

＜連結業績見通しと参考開示＞

・（資料 P.23-24）（当第２四半期累計期間の実績の）通期予想の進捗状況です。進捗率は、経常収益 52.4%、経常利益 57.6%、純利益 71.5%でした。順調ですが、当社の業績は損保事業に自然災害が大きく影響するリスクがありますので、第３四半期以降で上方修正の要否を判断することとさせていただきました。

・（資料 P.25）事業セグメント別の内訳です。経常収益は、各事業共に 50%を超える順調な進捗でした。

・（資料 P.26）セグメント利益は、少短が 50%に届きませんでしたが、損保と生保が 70%を超えていますので、連結ベースで 71.5%の進捗でした。

・（資料 P.27-28：IFRS に関する参考開示）IFRS に基づく税引前利益は、日本基準で 36 億９千５百万円、IFRS で 43 億５千８百万円でした。当第２四半期も IFRS において利益がより大きく測定されました。IFRS では、有価証券の種類や分類に応じて、公正価値の変動を期間損益に反映します。当第２四半期は、有価証券の公正価値に係る調整額が、前年同期比で 13.8 億円減少したことを主な要因として、日本基準では増益となった一方、IFRS では減益と測定されました。

・当社グループでは、IFRS での連結決算開示に向けた事前準備を進めてきました。当社は、９月 30 日付で同じＳＢＩグループのＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社との経営統合に基本合意しましたので、今後は、その点も踏まえて検討を進めてまいります。

＜ＳＢＩグローバルアセットマネジメントとの経営統合＞

・（資料 P.29-31）９月 30 日付の適時開示資料と本日公表した決算短信の P.14 以降に詳細な説明がありますが、要点について私からご説明します。

・当社は、ＳＢＩグループの中の保険持株会社です。ＳＢＩグローバルアセットマネジメントは、同じＳＢＩグループの中でアセットマネジメント事業を統括している持株会社です。この２社を来年４月１日に会社合併で統合して、ALM の高度化、運用起点の商品設計、AI・システム等の基盤の共通化を進めることで保険事業の競争力を高め、得られた成果をお客さまへ還元していき

ます。

・本件は、まだ基本合意の段階にありますが、予定どおり進むと今後、最終契約の締結、臨時株主総会の開催等を経て、４月１日付で上場２社が合併。より大きな企業グループを形成して、企業価値の更なる向上を目指していきます。合併後、当社の株主様には、当社株式にかえて東証プライム市場に上場しているＳＢＩグローバルアセットマネジメントの株式が所定の比率で割当・交付されますので、ご安心ください。

・これまで、ＳＢＩインシュアランスグループは、AI・AX といった先端テクノロジーを活用した徹底したローコストオペレーションで事業費を節約し、他社よりも安い保険を提案することで、大手のシェアを奪って高い成長を続けてきました。

・過去 5 年間の年平均利益成長率は 30%を超えています。今般の経営統合によって、AI・AX の投資をさらに拡大させることができますので、保険事業の成長はさらに加速をします。また、これまで参入できていなかった貯蓄性の生命保険・年金への参入も可能となります。これにより、保険事業の成長はさらに加速して、新たなフェーズへと入っていきます。

・存続会社となるＳＢＩグローバルアセットマネジメント株式会社が（同社の当年度第２四半期決算説明会資料の中で）示している「2030 ビジョン」（2030 年度を対象とした最新の試算・日本会計基準）において、2030 年度の税引前利益・1 株利益が非常に大きくなった姿を描いています。新会社の前途は洋々です。どうぞご期待ください。

記述：ＳＢＩインシュアランスグループ株式会社　IR・広報部